

大塚小だより

9月号

学校ホームページ / <http://www.ohzuka-e.edu.city.hiroshima.jp>

つくづく惜しいとセミも鳴き

夏の終わりを予感させるツクツクボウシの鳴き声「ツクツクオーシ」「ツクツクオーシ」が、「夏が終わるのがつくづく惜しい」と去りゆく夏のなごりを惜しみながら鳴いているように聞こえてきます。

学校にまた、一段とたくましくなった子どもたちの歓声が戻ってきました。長い夏休みを無事終え、9月を迎えられたことをとてもうれしく思います。

きっとこの夏休みの間に、平素、学校では見ることができないものを目にしたり、することができないことを数多く体験したりすることができたことでしょう。

ドーン！夏空を色鮮やかに染める打ち上げ花火、大塚・伴南ふれあい祭りで一生懸命になったスーパーボールすくいや射的・輪投げ、海水浴に行って味わったしょっぱい海の水、田舎でおばあちゃんに切ってもらったスイカの味、輪になって踊った盆踊り、夢中になって追いかけたクワガタや川魚、そして感動と興奮を呼び起こした北京オリンピックや甲子園での白球のドラマ。

心に刻み込まれた数々の思い出を宝とし、貴重な学びをこれからの学習や生活に生かして行ってほしいものです。

第48回広島市小学校児童水泳記録会が、8月9日（土）ビッグウェーブで開催されました。本年度は5年生8名、6年生7名の計15名が参加しました。各自が自己記録更新を目指して力泳した結果、6年生4名が標準記録を上回る優秀記録をおさめました。中でも6年男子50m平泳ぎに出場した大瀬戸 泰樹くんが44秒62のすばらしい記録で、第3位の表彰を受けました。

「あいさつは自分からするものだよ。」

プロゴルファーの杉原輝雄さんが、ある取材で訪れたスポーツアナウンサーに対して言われた言葉です。この言葉を耳にしたスポーツアナウンサーは、はっとさせられる思いがしたと、後日談で次のように語っています。

杉原輝雄さんのお人柄の一端がにじみ出た「あいさつは自分からするものだよ。」というこの言葉によって、自らの生き方の狭さや、いつのまにか変な鎧で身構えてしまっていた自分に目覚めさせられ、わが身を洗われるようなさわやかな感銘を受けたと。

相手を見てあいさつをしたりしなかったりとか、相手があいさつすればするけど自分からは進んでしなかったりとか、このようなことはないか身のまわりにそっと目を向けてあいさつのしかたをふり返ってみたいものです。

【あいさつ⑤】

これまで気持ちのよいあいさつ（ステップ12345）に取り組んできました。さわやか委員会が進めてくれている校長室前の「あいさつの木」も、シールでいっぱいになりました。

ステップ6 自分から進んで気持ちのよいあいさつ

習慣化を目指し、次のステップへとさらに取組を充実させていきます。

- ① いさつは
- ② つでも どこでも だれとでも
- ③ きにかけよう
- ④ づけよう

